



香北もみじ祭り

11月19日に、香北町の大荒の滝で、香北もみじ祭りが開催されました。

当日は、木馬茶屋前(香北町大東)で琴の演奏が行われ、野点による抹茶が振る舞われました。また、今年は木馬茶屋の営業を梅久保『昔の青年団』が行い、田舎ずしやイモ天、かるかんなどを販売しました。この日は澄みわたる秋空に恵まれ、訪れた人たちは、赤く色づいた紅葉を愛でながら風情ある一日を過ごしていました。

※轟の滝は雨天のため中止。

マーチングで火の用心

11月9日、パリュウかがみので、土佐山田幼稚園の子どもたちががマーチングを行い、火災予防を呼びかけました。これは、秋季全国火災予防運動の一環で行われたものです。

元気いっぱいのかわいらしい演奏に周りの大人たちも目を細めていました。火災の発生しやすい季節です。火の取り扱いには十分注意してください。



協働の森づくり 森に親しみ森をつくる体験

11月12日、高知工科大学と同大学後援会が地域間交流事業を開催しました。

これは、香美市と環境先進企業との協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結している団体が、森林の大切さを知り森に親しむことを目的に、毎年開催しているものです。

午前中は、物部から赤岡まで続く昔の産業道、塩の道を歩くウォーキングツアーを行いました。香北町久保川から物部町庄谷相までの約5.6キロを、塩の道の歴史を学びながら歩きました。

午後の部は、物部町柳瀬の森林で、チェーンソーによる間伐体験を行いました。物部森林組合の指導のもと、間伐作業に挑戦した参加者らは、山の斜面での慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、森林を生かす仕事の大切さや大変さを、肌で感じたようでした。



▲初めて扱うチェーンソーにドキドキ(物部町柳瀬)

危険業務従事者

叙勲

平成29年11月3日に発表された、危険業務従事者叙勲の市内受章者を紹介します。



瑞宝単光章 (消防功労)

かみいけ ひでよ
上池英世さん(69歳)

上池英世さん(物部町大柝)は、昭和48年1月に山田消防組に消防士として採用され、平成16年12月、消防司令を最後に退職されるまで、32年間の長きにわたりその職務を全うされました。香北分署の中核として、地域の安心・安全のために業務を遂行し、平成14年からは香北分署長として、後進の育成や各関係機関との連携強化など、消防行政の発展に大きく貢献されました。

高知県の救助訓練に第1期生として参加し、石立山での山岳救助など、過酷な現場でその力を発揮されました。もともと好きだった山登りは救助現場での糧となったと話され、「いまはもっぱら猟に出かけて、山を満喫しゆう」と穏やかに笑っておられました。



▲親子で触れ合いながらの工作体験に、思わず笑顔がこぼれる

11月5日、なかよし保育園と山田養護学校で、市内の就学前の子どもを対象にちびっこ広場が開催されました。

これは、国際児童年である昭和53年に始まり、伝承遊びや、保育士・保護者により構成されるぜんまい座の太鼓や演劇を通して、親子の交流や親睦を図るイベントです。

午前の部では、昔遊び道具やお面作りなど、親子で楽しむ工作のほか、おみやげひろいなどが行われました。



▲毎回好評のぜんまい座公演

午後の部では、ぜんまい座の公演が行われ、歌や劇で大いに盛り上がりしました。公演では『白雪姫』の劇が披露され、出演者の熱演に、会場には大きな笑い声が響いていました。

大柝を花いっぱい 子どもたちが植え替え

10月25日、大柝小学校児童クラブ(もんべえクラブ)の子どもたち19人と先生たちが協力し、JR四国バス大柝駅前に設置されたふれあい花壇の植え替えを行いました。

これは、物部地区公民館事業として行われたもので、子どもたちは、チューリップの球根100個とビオラ40ポット、パンジー40ポットを丁寧に植えていました。春に向けてたくさんの花が色鮮やかに開花し、花を通じて、大柝駅が地域の人々のふれあいの場になることでしょう。



▲「花いっぱいになあれ」と願いを込めて